

平成 19 年 7 月 4 日

報道関係各位

加賀コンポーネント株式会社

7 月 3 日、「加賀儀器汕頭有限公司」で開所式を開催  
中国・汕頭工場でプロジェクタの生産を本格化  
グローバル戦略の一環で、中国市場向けの製造・販売を加速

加賀電子株式会社の連結子会社である加賀コンポーネント株式会社（本社：東京都文京区本郷 2-2-9、社長：高師 幸男）は、今年 1 月に米国テキサスインスツルメンツ社の DLP®テクノロジーを搭載したプロジェクタ（URL：<http://www.taxan-projector.com>）の販売を開始いたしました。プロジェクタ事業のグローバル戦略を加速させるため、今年 2 月 1 日、中国に「加賀儀器汕頭有限公司」を設立、昨年プラスビジョンから事業譲渡を受けた生産拠点において、この 7 月より、中国国内向け製品の製造を本格稼働します。

また、この 7 月 3 日、加賀儀器汕頭有限公司の工場で行行政関係者、中国の販売パートナーを招き、開所式を開催しました。



中国国内では、今年 3 月から日本でも販売を開始した「PS シリーズ」を中心に販売します。同シリーズは、高性能でありながらコストパフォーマンスを追求し、2500 ルーメンとしては世界最小クラスの体積 2.9 ㍓、重さ 1.8kg のスタンダードモデル 3 機種で展開。最上位機種は SD 無線 LAN カードによるワイヤレスプレゼンテーションを可能とするほか、イメージビューワ機能を搭載したことで PC レスでのプレゼンテーションも可能にします。また、今後は新たに開発を進めている「PS シリーズ」の防塵モデルも中国国内で生産、販売を予定しています。

現在、中国のプロジェクト販売は、市場全体の約 60%が教育市場向けとなっていることから、加賀コンポーネントでは、プロジェクトを軸にレーザーポインタやスクリーンなど周辺の電子機器やオフィス機器などトータルでのパッケージ販売も計画しています。中国国内でのプロジェクト販売は、今期 1 万 5000 台を見込んでいます。

加賀コンポーネントでは、加賀電子グループの商社機能と自社の EMS 機能を活用することで、“高性能を、もっと身近に。”とする製品戦略に基づき、価格競争力の高い米国テキサスインスツルメンツ社の DLP®テクノロジーを搭載したプロジェクトを順次市場投入しています。今後は中国をはじめ、インド、ロシアといった成長の著しい国での販売強化を目指しています。また、欧州でのマーケティング活動においても、現地販売代理店や広告代理店との関係強化を進めており、グローバルな販売体制を確立していきます。

#### 加賀儀器汕頭有限公司の概要

正式名称 : 加賀儀器汕頭有限公司 ( 英表記 : KAGA INSTRUMENTS SHANTOU CO.,LTD. )  
設立年月日 : 2007 年 2 月 1 日  
董 事 長 : 青木 誠 ( 加賀コンポーネント株式会社 専務取締役 )  
社 員 : 80 名  
所 在 地 : 中国廣東省汕頭市龍眼路 104 號 2 座 3 層  
生產品目 : プロジェクト

— <この件に関するお問い合わせ> —

加賀コンポーネント株式会社  
広報担当 遠藤  
東京都文京区本郷 2-2-9  
TEL : 03-4455-3244/ FAX : 03-3814-4544